

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年10月16日】第181号



お休みの過ごし方

10月10日(火)、土曜日からの3連休後の登校となりました。連休だけでなく、月曜日は子どもたちの調子が今一つのことが多いようです。制帽を忘れたり、上履きを忘れるなど身支度が不十分だけでなく、子ども同士のちょっとしたトラブルも多い傾向があります。聞いてみると、それぞれの理由があるのですが、朝すっきりと起きられない、あるいは、休日の疲れが取れないというところは共通しています。

休日は家族で楽しんだり、いつもはできないことにじっくり取り組んだりする大切な時です。一方、週明けの登校に向けて、心身の調子を整えることを忘れてはいけません。このコントロールは、子どもたちにはまだ難しく、保護者の方々のご配慮にお願いするところです。

忘れものをしたり、友だちとぶつかったりと嫌な気分では1週間を始めるのではなく、元気いっばいで1週間を始めてほしいと思います。

育つ植物

畑では1年生のダイコン、2年生のカブ、3年生のコマツナが育っています。間引きの時期を迎えたものもありますし、定まらない気候のために成長が遅れているものもあります。畑の様子を考えながら、また「畑の先生」湯浅さんに相談しながら畑に行く日を決めます。担任ほか教職員に引率されて畑に向かう子どもたちは、本当に楽しそうです。

「農大稲花小の畑」に向かう道のりは長くありませんが、一列に並べない子どもがいないわけではありません。少数ですが作業中も気が散ってしまう子どもがいます。せっかくの学びの機会を活かせていない子どもがいるのは残念ですし、いずれ大きな差がついてきます。畑だけではありませんが、どの子どもも今やるべきことは何かを理解して、集中できるよう育てたいと考えています。

テラスでは2年生のバケツ稲が収穫され乾燥中でした。3年生用に育てた城南小松菜も順調に葉数を増やしています。1年生のネモフィラ、キンセンカは一人一鉢ですから、開花までの間、子どもたちはしっかり管理しなくてはなりません。子どもたちはテラスや畑で植物を育てながら、自分たちも育っていくのでしょう。

地域探検

2年生は今週、地域探検の学びで、お隣の東京農業大学第一高等学校・中部部を訪問しました。小学校の正門を出て、一高の正門から入れていただきます。紙谷教頭先生に出迎えていただいた子どもたちは緊張しながら「お願いします」と声を揃えていました。

この機会に子どもたちは、グラウンドなど外側だけでなく、校舎の中もご案内いただきました。授業中の生徒さんたちの姿を見て、子どもたちは何を感じたのでしょうか。

事前面接は続く

10月10日(火)から入学試験のためのオンラインによる事前面接がはじまりました。オンラインも一般化した今年は、昨年までと比べてオンラインのトラブルがぐっと少なく、順調に進んでいます。

オンライン面接中は、子どもたちにも廊下や通路を静かに通るように指導しています。子どもたちも、自分が受けた面接のことを思い出して協力してくれています。受験勉強のことや入学試験の思い出を話してくれる子どももいます。本校に入学したどの子どもにも、また、これから入学試験を経て入学してくる子どもたちにも満足できる楽しい学校生活を提供する責任を、改めて感じる時期です。

たくさん採れました

10月14日(土)、世田谷区松原にある松原圃場において教育後援会主催の「第5回 親子芋掘り・落花生掘り体験」が開催されました。

最初は1年生のサツマイモ収穫です。「畑の先生」湯浅さんや東京農業大学国際農業開発学科の学生・院生が世話をして育てたベニアズマを、1家族3株ずつ収穫しました。重さを計ってみると、一番大きなものは1250グラム。「おもいおもいで賞」を受賞しました。また、ゆがんだり、細かったり、ねじれたサツマイモの中から選ばれた「おもしろいおもいで賞」は、鏡に映したように左右対称のサツマイモが選ばれました。大学院博士課程の院生から、サツマイモのミニ講義もあり、また、学級ごとの交流では、子どもたちが今はまっているものや、通学経路などを披露していました。

続けて、2年生対象の落花生収穫です。こちら大きく育った落花生を力いっぱい引き抜き、一つ一つ落花生を収穫します。その後、莖と根の長さを測定し、1.9mと一番長かった子どもが「へいへい賞(落花生のつるのことを子房柄(しぼうへい)といいます)」を受賞しました。もちろん、油糧作物を研究している学生さんから、落花生ミニ講義も聞くことができました。よいお天気に恵まれ、保護者同士の話も弾んでいたようです。

湯浅さんには、サツマイモや落花生の保存の仕方やおいしい食べ方を紹介していただき、それぞれ収穫物を持ち帰ることができました。

当日は、校長、教頭、事務室長も参加し、保護者の皆様とも楽しくお話をいたしました。教育後援会役員の皆様や、ボランティアとしてお手伝いくださった保護者の皆様には御礼申し上げます。

東京農業大学稲花小学校

校長 夏 秋 啓 子